

和賀崇（岡山大学教学企画室）・田渕裕基（岡山大学学務部）・小川義弘（岡山大学学務部学務企画課）・田中岳（岡山大学副学長）

第4期中期目標期間（令和4（2022）～令和9（2027）年度）における国立大学法人評価では、令和3年（2021年）の国立大学法人法改正により、年度評価が廃止され、中期目標・中期計画における「教育に関する目標」の進捗管理、自律的な点検・評価と継続的改善を実現する教学マネジメント体制の再構築が課題となった。
 中期目標・中期計画の進捗管理、教学マネジメント恒常化に向けた評価・助言を得るため、令和4（2022）年度から外部評価委員会を導入した。本学の評価指標は定性的な評価指標であり、自己点検・評価による客観的検証の限界を克服するために、外部有識者の知見が有効と考えた。また、従来の一般的な外部評価を批判し、本学独自の外部評価制度を開発した。

第2回（令和5年度外部評価委員会）
谷口委員長からの講評

第3回（令和5年度FF）
個別意見交換の様子

第5回（令和6年度FF）
大学執行部との意見交換会の様子

第7回（令和7年度第2回外部評
委員会）実施状況説明の様子

第1回から第7回までの委員会資料

第2回から第6回までの外部評価
報告書

教学企画室ウェブサイト

※ 過去の外部評価報告書等も掲載
※ 本発表に関するご質問・ご意見等がござい
ましたら、下記（和賀）までご連絡ください。

E-mail: waga-t@okayama-u.ac.jp

- ・ 自己評価プロセスに専門的かつ客観的な視点を提供することによって、内部モニタリング機能の高度化に寄与した。
- ・ 内部質保証プロセスに外部評価を組み込み、進捗管理や改善のための資源として活用した。
- ・ 大規模総合国立大学における教学マネジメントの再構築を促進した。外部評価を媒介として目標の確認、データ収集、分析、改善、再検証という一連のプロセスを組織横断的に連動させ、組織全体で共有する仕組みを形成した。
- ・ 制度的枠組みは他大学においても活用可能であり、教学マネジメントの高度化に向けた有効な示唆を提供するものと考えられる。

時 間	内 容
9:00～9:30	外部評価委員打合せ
9:40～10:00	開会・学長挨拶
10:15～11:30	全体概要説明
11:30～12:10	昼食（ランチミーティング）
12:10～12:40	外部評価委員打合せ
12:45～17:30	実施状況説明及び質疑 5計画（1計画 60～90分） 休憩（30分）含む
17:30～18:05	外部評価委員打合せ
18:10～18:30	外部評価委員会終了後の総括コメント
18:30～18:40	閉会・学教担当理事挨拶
18:40～20:00	外部評価委員会フィードバック作成のための打合せ

谷口 説男 委員長（九州大学名誉教授）／ 立石 慎治 幹事（筑波大学図書館情報メディア系助教、教学マネジメント室教育力向上部門長）／ 山内 乾史 委員（佛教大学教育学部教授、神戸大学名誉教授）
浅野 昭人 委員（学校法人立命館常務理事、立命館アジア太平洋大学副学長）／ 大浦 弘樹 委員（東京理科大学理学部第一部教授）／ 佐藤 万知 委員（京都大学大学院教育学研究科准教授）